

# 「わたしは知らない ～イエス様は見つめておられる～」

ルカ22:17-62

## ■ ルカ 5 4～6 2節

この箇所は、イエス様が十字架に架かれる前、捕らえられた時ペテロが3回知らないといった場面です。イエス様は十二弟子と最後の晩餐をされた時、弟子達に十字架に架かることを伝えられました。イエス様が死ぬなら自分も一緒に死ぬというほどの熱い思いをペテロはイエス様に伝えていきます。

イエス様が捕らえられた後、ペテロは後に付いていきました。中庭の真ん中で火を囲んでいました。身を潜めていたペテロに、召使の女が気づき、指摘します。イエスキリストの弟子ではないのか？ペテロは、「知らない。」と言いました。またほかの人から、指摘されます。2回目も「知らない。」と言いました。しかしそんな受け答えをしているにも関わらず、周囲の疑いのまなざしが続く中、そこにペテロはずっといました。言葉だけを考えるなら、とくにその場所から離れている状況です。イエス様が大好きだったペテロ。「知らない。」という返答と、真逆な心がそこにはあり、様々な葛藤があったことが推測されます。しかし3度目に、人々から指摘された時、ペテロは完全に否定をしました。否定どころか、「あなたの言っていることは分からない。」という関係もなければ、そんな人知らないという姿勢でした。言い終える前に、鶏が泣きました。

## ■ 『そんなつもりじゃなかった』って逃げないで

私たちの日常に、「そんなつもりじゃなかったのに…」ということは無いですか？ペテロは、自分が一番弟子だと思えるほどにイエス様のことが大好きで仕方がなかったのです。それなのに、「そんなつもりじゃなかったのに。」という行動をしてしまいました。「そんなつもりじゃなかった。」という出来事は起こります。でもそんな時、そのことについて向き合わず、逃げてはいけません。もしそのまま逃げてしまうと、神様に素晴らしく創られている本来の自分とは程遠くかけ離れた人になる間にか、なってしまいます。

## ■ 本来のペテロ

マタイ 16:16 シモン・ペテロが答えた「あなたはいける神の子キリストです。」  
マタイ 6:69 「私たちは、あなたが神の聖者であると信じ、また知っています。」  
マタイ 6:22,23 するとペテロは、イエスを引き寄せて、いさめ始めた。「主よ。神の御恵みがありますように。そんなことが、あなたに起こるはずはありません。」しかし、イエスは振り向いて、ペテロに言われた。「下がれ。サタン。あなたはわたしの邪魔をするものだ。」  
マタイ 26:33 すると、ペテロがイエスに答えて言った。「たとい全部の者があなたのゆえにつまずいても、私は決してつまずきません。」  
26:34 イエスは彼に言われた。「まことに、あなたに告げます。今夜、鶏が鳴く前に、あなたは三度、わたしを知らないと言います。」  
26:35 ペテロは言った。「たとい、ごいっしょに死ななければならぬとしても、私は、あなたを知らないなどとは決して申しません。」弟子たちはみなそう言った。  
これらの箇所から、ペテロは神様のことが本当に大好き大好きで、いつも熱く、真つすぐに思いを伝えることができ強くて勇ましい人物であることがわかります。

## ■ 真逆のペテロ

ルカ 22:56 すると、女中が、火あかりの中にペテロのすわっているのを見つけ、まじまじと見て言った。「この人も、イエスといっしょにいました。」  
22:57 ところが、ペテロはそれを打ち消して、「いいえ、私はあの人を知りません。」と言った。  
このように「知らない。」と言い続け、挙句の果てに知らないことが「ウソなら呪われてもいい。」とまで言ってしまったのです。ここには本当のペテロの姿はありません。【真逆】な姿です。

## ■ イエス・キリストの眼差し

イエス様は捕らえられ歩いている最中、ご自分の事を「知らない。」と言ったペテロと遭います。そして目が合います。イエス様は、ペテロを見つめられました。「見つめられていた」という眼差しには、「深く憐れみ」ルカ 7:13」という意味があります。言語には、「すぐく大事」、「腸が動くほど、内臓がえぐられるほど大事に思う」という意味があります。また、「慈しんで言われた」マルコ 10:21」これは、「愛して言われた。」という意味です。これは、十字架の意味があり、滅びに向かうはずだった私たちの為に、身代わりとなり罪を背負い十字架にかかれた、イエス・キリストの愛です。  
あなたの欠点を人々は責めるかもしれませんが、そして自分自身でも嫌な自分を責めているかもしれません。しかしイエス様ご自身が、私たちに罪の指摘をされる時、決して「責め」ではないことがわかります。「【いつくしんで言われた】」マルコ 10:21」  
ペテロを見つめたように、イエス様がじっとこちらを見つめられるとき、それは裁いたり、怒ったり、呪んだりしているのでは決してありません。内臓が動くほどに愛して、すぐく大事に思っているからこ

そ向き合って下さっているのです。  
マタイ 19:26 『イエスは彼らをじっと見つめて言われた。「それは人にはできないことですが、神にはどんなこともできます。』

## ■ どのように向き合うのか？

ペテロは道徳的な臆病さがありました。しかし反対に、強い情熱、イエス様が大好きという想い、また素早い反応をすることができる賜物がありました。  
本当の性質に、偽りが入ってくるほど、それは真逆な弱さになってしまします。良いところが大きければ大きいほど、そこにウソやごまかしがあると、それは大きな弱さになるのです。  
予期しない誘惑にあった時、私たちの決断と行動が大切です。予期しない罪に陥ったとき、罪の後に、自分自身とどのように向き合うかがポイントです。それは自分自身の弱さ・実際の性格をはっきりと認めること、そこから始めるのです。これが向き合うことなのです。

## ■ ジョン・モーリー

受け入れがたい状況、してしまっている事、まず受け入れなければ直していくことができない。自分の実際の性格を認めることから始める。

## ■ 確認しよう

- 疑っていないあなたの良い性格。
- ごまかしていること、偽りはないか？
- イエス様はあなたの全てを知っており受け入れていてる。

ペテロが3度「知らない。」と最愛のイエス様を裏切ったときに、目が合ったイエス様のまなざしは、「愛」の眼差しでした。だからペテロは、その後、激しく泣いたのです。イエス様は、あなたを待っておられます。

## ■ イエス様はあなたの将来をみつめておられる

ペテロは何事にも素早い反応が出来、溢れる情熱がありました。ペテロは自分に自信がありました。イエス様は、そんなペテロが将来、教会を建てあげ、人々に寄り添う器であることを見ておられ、そんなペテロが持っている自分に対する自信が、命取りになる事を知っておられました。イエス様は、ご自分が裏切られ低くなられ痛みを負われることよりも、優先したのはペテロの将来でした。イエス様はあなたの将来を見ておられます。  
素晴らしい役割・祝福を受けるために、根絶やしにしておかないといけないことがあるのです。もしも、卑屈になっていくことがあるなら、イエス様に伝えましょう。それはあなたにとって将来に必要なことです。

## ■ シモン・ペテロ

○「シモン」揺れ動く葦、芯がない。○「ペテロ」岩。百合動くことがない。  
ルカ 22:31-32 『シモン、シモン。見なさい。サタンが、あなたがたを麦のようにふるいにかけることを願って聞き届けられました。しかし、わたしは、あなたの信仰がなくならないように、あなたのために祈りました。だからあなたは、立ち直ったら、兄弟たちを力づけてやりなさい。』  
ペテロが、イエス・キリストを3度知らないという前、イエス様は、ペテロの事を以前の呼び名、「シモン」と呼んでいました。そこには、立ち直ることが出来る事、人生は必ず回復する事、わたしが祈っているよと言って下さっています。祈られているのです。だから立ち直り、兄弟を力づけることが出来るのです。

## ■ 雪のように白く

海に泳ぐ魚たちは、全て違う形です。大きい魚、小さい魚、そこには優劣があるでしょうか？それは誰にも比べることでないのです。比べる要素を探さなくていいのです。そんなところ見つからないのです。なぜなら、完全にオリジナルだからです。全ては神様が与えてくれた特徴です。それを見失ってしまう私たちの為に、イエス様は十字架にかかって下さいました。イエス・キリストは、裏切るペテロを「シモン」ではなく、「ペテロ」と、呼ばれたように、私たちの名前を新しい名前と呼んで下さっているのです。

ルカ 22:34 『しかし、イエスは言われた。「ペテロ。あなたに言いますが、きょう鶏が鳴くまでに、あなたは三度、わたしを知らないと言います。』

イエス様は、私たちが本当の自分でいられなくなるもの、それをどうにかしたいと願って下さっています。プレゼントを両手を広げて受け取ってほしいから、それを妨げるものを取りさりたいのです。私たちの隠している黒い点は、イエス・キリストに持っていくな、雪のように白くなるのです！

マタイ 28:20 『「また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。』  
アーメン！

(要約者: 富岡 牧)

(2024年8月18日)